

# 国境越え盛んな拍手

## 盛大に「かまくら国際交流フェス」

台風一過の鎌倉市長谷、10月31日、かまくら国際交流フェスの外国人観光客らでにぎわった。流フェスティバル2010



が開かれ、アムステルダム、インターナショナル鎌倉グループを武蔵野に続き、海外公演も委員会(栗はじめ、Y.Z.M.野生動物を総裁)が主催。日独協会ブースは似顔絵描き好評。

小原流若樹会による生け花体験コーナーは、ネイパル女性館が剣山と、格闘する姿も。

ど、親たちはあちこちでカメラをかまえて「ハロ、ポーズ」この日A.P.E.Cで来日した各国首脳の夫人らが観光で訪れる鎌倉は、警戒態勢がしなやか、三ツ島周辺の沿道にも整備された表情で大勢立っていた。

## お願い！パ。パを見て

### 敵戒態勢のなか七五三

澄みきった青い空の11月、つた親子らが引つ切りなした。13日・大安、鎌倉の鶴岡八に訪れたII写真。同日、大仏 稲宮では、舞殿で朝から夕まで結婚式の雅楽の音。布衣の女の子や、羽織袴姿の男の子、ふだん走り回った度もある大が鳴り響き、七五三で着飾る男の子、ふだん走り回った



同宮の神官は「交通規制してか中には着物を運動靴があるのを知り、公共の交履きの子もいたが、どの子もこのときばかりは「上着もゆき」の顔つき、わが子の晴れ姿を写真におさめよう

# ひと

## 神奈川文化賞受賞の日本画家

### 山本直彰さん



「芸術がなかったらひとからびてしまふ」  
絵画を通じて神奈川の美術の振興に貢献しているとして11月3日の文化の日「神奈川文化賞」を受賞した。

「そのために描いているのではないが、報われるという」  
鎌倉に最初に住んだのは銭洗弁太(1876)は、26歳から11年ほど住んだ。美術書編集者の森登を毎日訪ねて、住んでいながら、1階の10畳の一間を借りて美術館に行っていた。

「子どもは、子どもたちに残るから、子どもたちを育てていく」  
鎌倉市在住。妻と長女(3人家族)。(C)

「子どもは、子どもたちに残るから、子どもたちを育てていく」  
鎌倉市在住。妻と長女(3人家族)。(C)

## 思い出の写真 炎の中に

### 瑞泉寺で写真供養感謝祭



境内で行われたII写真。人生の記録や思い出を撮った写真も環境が変わり、不用になることもある。そんな写真でもゴミとして廃棄するにほしのびない、捨てるに捨てられないこうした写真を大1真住職の誂話とともに焼き上げ供養する行事で、14日、新聞やインターネットなどで行事を知ったという人たちが市内はじめ、藤沢や横浜、首都圏からもどつと訪れ、紙袋やタンポールに入れられた写真を供養した。

「再婚したての前の配偶者の写真を燃やし、気持ちをすっきりさせたいと思う」  
と話していた。

## 匠の北鎌倉の北鎌倉の「匠」

### 東慶寺参道などで市開く

北鎌倉の円覚寺、東慶寺は北鎌倉の参道で、も鎌倉を中心に活動する24人の、ひと、出会い、ふれあいのプロの作家を紹介するテーマに11月3、4日、市開く。匠の市が開かれたII写真。浄智寺書院で三味線と尺八の演奏も開かれた。出展する人たちだけではない。参道に陶器、ちりめん細工、アクリル、有機栽培の野菜、手作りの菓子など並べられ、買い物客でにぎわっている。

## 古典から現代風作品まで

### 活躍中の鎌倉彫作家が展覧



「鎌倉彫23人 倉彫展が11月上旬、北鎌倉の円覚寺で行われた。」  
現代活躍 盆、皿、鉢や茶托などさまざまな作品が展示され、古典的なものもあれば現代家の後藤圭子、尚子、木内哲、岩たななどは目を凝らして観賞していた。

## 1500人が「さくら貝の歌」熱唱

### 八洲秀章没後、25周年音楽会



鎌倉芸術館で11月5日(土)「さくら貝の歌」が開かれ、満席の約1500人が熱唱した。八洲秀章没後25周年記念コンサート。千五百人が観賞した。八洲秀章氏の次男、沢木サトウ「さくら貝の歌」による



「さくら貝の歌」を披露した。倍賞千恵子さんは夫の小六禮次郎さんのピアノで倍賞千恵子さんは夫の小六禮次郎さんのピアノで

### 明日の環境を創造する。

浄化そうの清掃維持管理 貯水槽清掃及び環境整備事業は

## 株式会社 神中運輸

〒248-0007 鎌倉市大町4-1-35 ☎(0467)(22)2205(代)

### 明治37年創立

## 鎌倉女学院

中学校・高等学校

心身ともに健康で 国際性豊かな人間教育

〒248-0014 鎌倉市由比が浜2丁目10番4号 ☎(0467)25-2100(代表)

本を通じ、皆様のお役に立ちたいと願っています。

## 雑誌・書籍・文具・事務用品・ファンシー

鎌倉駅東口前 ☎0467-22-0266  
大船駅東口前 ☎0467-46-3841

## 島森書店

## カマクラン英会話

●小・中 学校の教師 対象(基礎英語から) 対面(fresher course)土曜朝・月3回●外国人の日本文化を伝える(やさしい通訳ガイド)水曜朝・月3回●月謝¥5,000他に運営費年額¥5,000●問合せ/申込みは/ガキまたは FAXで0467-25-6923●事務局(0467-25-5223)●先着順各15名まで